



# 探してみよう ごみとの上手な 暮らし方

私たちが暮らしていく中で発生する「ごみ」。

当たり前に出てくるごみのことは、  
あまり気に留めることもないのかもしれませんが。

でも、ごみとの上手な暮らし方を知り、  
暮らしの中でちょっとした工夫を行えば、  
あなたの生活がきっと、よりよいものになります。

今、ごみとの暮らし方を見直してみませんか。





カメラレポート  
粗大ごみ・埋立ごみの行方



①ごみの集積

収集された埋立ごみは、第4週目の火曜日に不燃物置き場に集められます。その量はトラック約52台分(2トン/月)にもなります。

②ごみの分別  
作業員11人が4日かけ、一つ一つ袋を開けて手作業で分別します。ごみの中にはびん、プラスチック、電気製品などさまざまなものが捨てられていて、作業も一苦労です。

Check

埋立ごみ503トン(平成24年度)のうち、可燃ごみが39トン、リサイクルできるごみが38トンも含まれていました。これを埋め立てると、余計に約490万のお金が必要になります。



③分別完了

「燃やせるもの」は伊予地区清掃センターへ、「木でできた粗大ごみと畳」は工業用燃料や製紙原料に、「その他リサイクルできるもの」はリサイクル処理先に、「埋めるしかないもの」は最終処分場に運ばれます。

Interview

町民課ごみ対策係  
濱崎 庄二 係長  
豊田 純一 係員



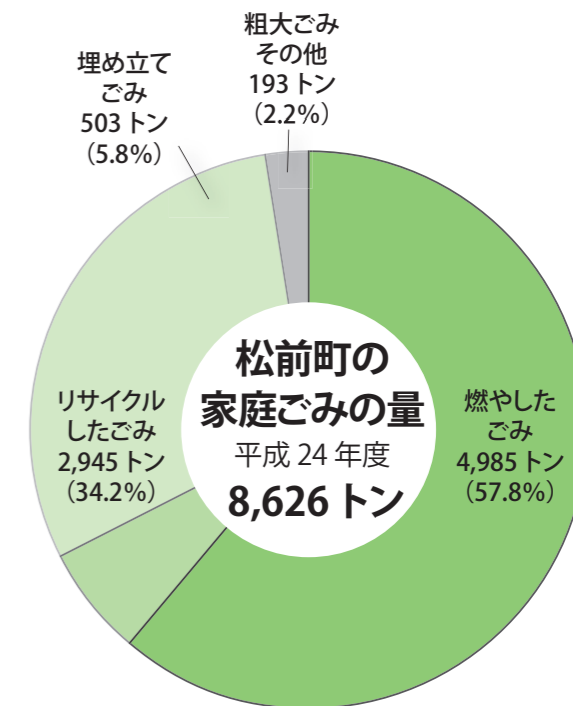
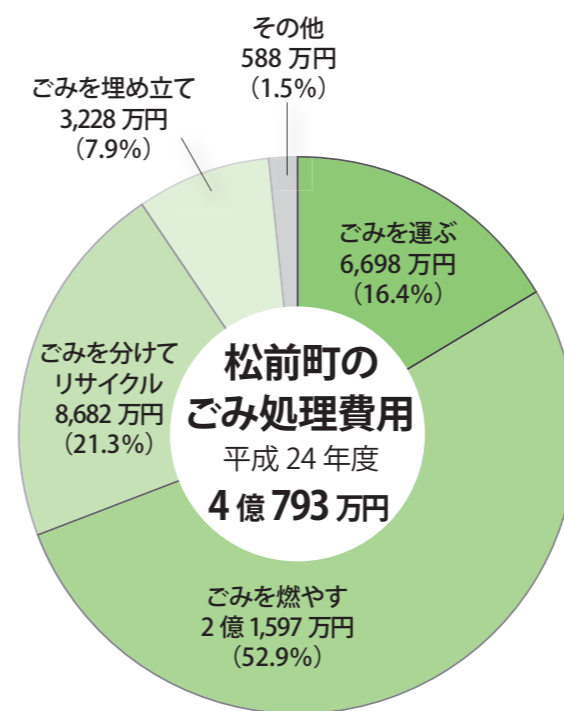
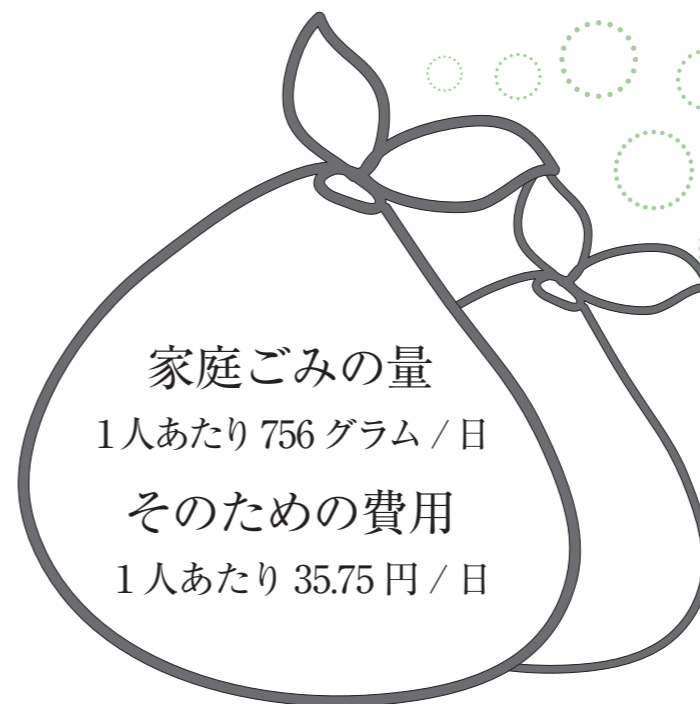
不燃物置き場は、町のごみ問題の縮図です。ごみは毎回、当たり前のように大量に運ばれて、新品の服、包装したままの食器、まだきれいな自転車、ランドセル…もったいないと思うものが捨てられています。埋立ごみとして布、紙、本、電気製品、生ゴミ、ペットボトルなどをごちゃ混ぜにして出す悪質なケースもある。最初に分別すれば資源にもなるのに、ごちゃ混ぜにするからごみになり、余計に処理費用もかかってしまっているんです。

# 松前の ごみ事情

私たちが普段何げなく捨てているごみ。

どのくらいの量が出て、どのくらいの費用がかかっているのか。そして、どのように処理されているのか。

知ることで、ごみの見方が変わるかもしれません。



最終処分場へ埋め立てられます。グラフを見ると分かるように、これらの処理にかかる費用は4億円以上。もし、ごみがきちんと分別されていないと、さらに費用が必要になります。

「分ければ資源、混ぜればごみ。分別すると、お金になります。分別してお金が変わるごみは商品です」と話す八束さん。粗大ごみ・埋立ごみの様子を見ると、まだまだ分別して費用が削減できる余地、ごみに新たな価値が生まれる可能性はありそうです。

では、私たちは何をすればいいのでしょうか。「まずは家のごみの現状を知ること。そして、ちょっとしたことから行動に移すこと」と八束さん。具体的には、「生ごみは水切りをしっかりしてからごみに出すこと」、「プラマークのついていないものなどは少しの汚れがついていたら、汚れを落として分別してごみを出すこと」など、ちょっとした行動をすることによって、ごみ減量につながります」と話します。

まずは、ごみを減量させるための方法を知りましょう。



環境カウンセラー  
八束 典子さん

「ごみは生活に直結しています。ごみを処理するには私たちの税金が使われています。すし、ごみが減れば安全で住みやすい町になりますからね」と話すのは、環境カウンセラーの八束典子さん。徳丸さんです。

町主催の子ども環境学園の講師を務めるなど、環境保全のために活動している八束さん。「私たちは、ほいっと捨てたらそれで終わりのごみ。処理場に行くと臭いもあります…。捨てた後どうなるのか知ることが大事です」と話します。

収集された8千トン以上のごみの行方。可燃ごみは焼却、資源物は資源として再利用できるような処理され資源物回収業者へ。埋立ごみ、粗大ごみは不燃物置き場に集められた後、手作業で分別。焼却処理や再利用できないものは

## その3 ごみを正しく分別する

正しく分別することも、ごみを減量して資源化していくために大切なことです。今回は、家庭ごみの半分以上を占める可燃ごみの正しい分別方法やごみの減量方法を紹介します。可燃ごみは指定袋に入れて、毎週月・木曜日、当日の朝7時までに地域のごみ集積場に出しましょう。

### 可燃ごみの対象

#### ①調理くず

野菜・果物のくず、残飯、卵の殻、貝殻など

#### ◎ Point しっかりと水切りしてから捨てましょう



平成24年度の焼却ごみのうち約4割は水分で、その処理に約5500万円かかっています。捨てる前の一絞りを心掛けましょう。

#### ②液状のもの

接着剤、芳香剤、絵の具、歯磨き粉、洗剤類、化粧クリームなどの中身が液状のもの。捨てる時は紙や布に染み込ませてください

#### ◎ Point 容器は洗って、材質に応じた分別を

#### ③衛生面から燃やした方がよいもの

紙おむつ、薬、掃除機のごみ、タバコの吸い殻、マスクなど

#### ④リサイクルできない紙

感熱紙、カーボン紙、写真、500ml未満の紙パック、内側が銀色の紙パック、アイスクリーム・ヨーグルトの紙製容器、濡れたり汚れたりしているもの

#### ◎ Point 紙類か、可燃か、正しく分別しよう

ティッシュの箱(ビニール部を除いたもの)、封筒、紙袋などは紙類です。面倒くさいからといって可燃ごみにまとめて捨ててしまうのではなく、きちんと分別するようにしましょう。

#### ⑤リサイクルできないプラスチック

プラマークのついていないプラスチック製品のうち、ビニールテープ、ストローなど小さなものや柔らかいものなど

#### ◎ Point 洗えるものは洗って、プラスチックごみへ



分別のときに多いのが、汚れたプラスチックごみ。捨てる前の心掛けで資源に変わるものも、そのままにしておくごみのままです。容器は洗えるものは洗い、プラスチックごみとして出すようにしましょう。

#### ⑥革・ビニール・ゴム製品、履物類

かばん、ベルト、ゴムホース、ロープ、雨カッパ、運動靴、スリッパなど

#### ◎ Point はずせるものは金属部分はずしましょう

#### ⑦その他

割り箸、竹串、そらまめの茎・さやなどせんてい枝に該当しないもの。破れたり汚れたりしている衣類、ネクタイ、クッション、布団など古着・古布類に該当しないもの。乾燥剤、保冷剤、使い捨てカイロ、活性炭

①については、生ごみを肥料に変える生ごみ処理容器などに補助金を交付しています。申し込みなど、詳しくは町ホームページや広報まさき4月号をご覧ください。

## その1 ごみを出さない工夫をする



▽ごみを出さない工夫例  
・シャンプーや洗剤などは詰め替え商品を利用する  
・食材を余らせず、腐らせず、使い切るようにする  
・レンタルできるものは、買わずにレンタルする  
・過剰な包装は断ったり、包装が少ない商品を選んだりする

買物に行ったとき、ごみになりにくいもの、使った後にごみが出ないものを選ぶようにしましょう。  
また、エコバックを利用してレジ袋を使わないように心掛けるなど、必要がないものには「いらない」と、意思表示することも大切です。

## その2 ごみにしない工夫をする



▽ごみにしない工夫例  
「松前町不用品データバンク」を利用する  
・いらなくなったものは、人に譲ったり、フリーマーケットに出品したり、お店に売ったりする  
・いらなくなった服をリメイクする

自分にとってはいらないと思うようなものでも他の人にとっては必要なものであったり、少し手直しすればまだ使えたりするものもあります。  
また、ビンなどは回収しているメーカーもあり、回収することで何度も繰り返し使うことができます。

少しの心掛けで大きな効果

## ごみを減らすための3つの心得

これから紹介する3つの心得は、普段の生活の中で少し気を付けるだけで、誰にでもできるものです。これらの小さな心掛けを行うことで、町全体では大きな効果となります。

まずは、この3つの心得を知り、自分の生活の中で実践できるものはないか考えてみましょう。

### 松前町不用品データバンクって？

いらなくなった・使わなくなった家具や自転車などの不用品を登録して、必要な人に無償で譲る制度です。

#### ▶登録方法

町ホームページから不用品登録カードをダウンロードして作成し、下記までメールで送信してください。

#### ▶登録できる不用品

無償で提供できる生活用品で、現状のままで使用可能なもの。  
※登録不可なものもあります。詳しくは町ホームページを参照するか、下記までお問い合わせください。

☎町民課ごみ対策係 ☎985-4117

メール: 141gomi@town.masaki.ehime.jp



2



## 資源を集めて 地域に還元 —西古泉—

エコ  
その2



3



4

1. (写真左から)泉さん、橋本さん、森内さん 2. 各組で集まったごみはトラックを使って集積 3. 対象品目以外のものも紛れていることも。手作業で分別していく 4. 資源をお金に換えて購入したごみ箱。老朽化が見られるものは、今後改修も検討している

ごみ置き場の環境が悪く、交通の障害にもなっている。平成15年度、地域のごみ問題に取り組むため設置された環境部。問題解決に向け、ごみ箱を設置する中で、その費用を賄う必要が出てきました。そこで17年度から本格的に始めたのが資源ごみの集団回収。団体で資源ごみを集めると、お金になる町の制度を利用し、東西リサイクルセンターと公民館の3カ所で回収を始め9年近くが経ちます。「地域の安全・安心を守るためには大事なこと。町がきれいになると、人もきれいになりますから」と話すのは、森内修副区長です。地域の人の協力がないと成り立たない各地区での集団回収。「継続することが大切」と、橋本憲一環境部長も話します。回収率が低下した時

期もありましたが、回収時に使用するユニフォームの購入や各組長への環境部ニュースの配布などの啓発を続け、25年度の回収は50トンを超えました。そして26年4月、新たな試みをスタートさせました。3カ所だった回収場所に、各組長の自宅付近などを追加。みんなが参加できやすい環境を整えました。「多くの組長さんに協力してもらい実現できました。今年も50トン以上の回収が目標です」と橋本部長は話します。「今後は老朽化し、傷みがひどいごみ箱やごみ集積場所の整備などに、この活動で生まれた資金を活用していきたい」と話す会計の泉範幸さん。資源を集め、地域の安全・安心のために生かす。地域での笑顔を増やすため、活動は続きます。

あなたにとっての「ごみと  
の上手な暮らし方」を  
ごみはどうしても出てき  
てしまうものです。0にする  
ことはできないし、その処理  
のためにはお金がかかって  
しまいます。でも、私たちの  
ちよつとした心掛けや行動に  
よって、それを0に近づける  
ことはできます。  
そして、そういった心掛け  
や行動は、どこかで自分の生  
活をよりよいものに変えてい  
きます。家計の節約など目に  
見えるものはもちろん、気付  
くと、人とのつながりが生ま  
れていたり、住みやすい地域  
を作るための協力をしていた  
りと、目に見えない価値が生  
まれていることもあります。  
今回紹介したのは一つの方  
法です。まだまだ普段の生活  
の中で、ごみを減らすために  
できることがあるはず。この  
機会に、みなさんも今の生  
活を見直して、自分にでき  
ることを考えてみてください。  
そして、それらを実際の行  
動に移していくことで、あ  
なたにとってのごみとの上手  
な暮らし方を探していきま  
しょう。

## これが私たちの ごみとの上手な暮らし方

ごみを減らしたほうがいいのは分かるけれど...  
「楽しくない」「一人では面倒くさい」  
このように感じている人はいませんか。  
そんな人たちのために、  
2つの事例をご紹介します。



1



2



3

1. ドリカム岡田の皆さんと作品の数々。「どんどん腕が上達していきました」 2. 使わなくなった着物を使って作ったかばん。手作りだからこそ、自分の好みに合わせて作ることができる 3. いらなくなった毛糸を使って作った服。「意外と暖かいんですよ」

ベストに、かばんに、クッションに...、お店に来たかと思うほど、たくさんのお物の数々。「買うのは簡単だけどお金がかかる。これは全部家にある着物やハンカチなどを使って作っているからタダなんです」と話すのは、ドリカム岡田の皆さん。公民館サポーターとして、家に眠る洋服などを活用した「わくわく夢講座」を開いています。ドリカム岡田を結成して8年。裁縫経験が少なかった人も得意だった人も、みんな楽しんで、家で眠っていたものに新しい命を吹き込んでいきました。「それまではいらなくなったら捨てていただけれど、捨てる前に

考えるようになったかな」と、メンバーの皆さんもにっこり。活動を通じ仲間も増えました。作ったものは自分で使うだけでなく、家族や近所の人へあげたり、フリーマーケットで売ったりしている皆さん。「ひ孫が喜んでくれて」「たわしは好評で、すぐ売れてしまいます」と話し、作る楽しみだけでなく、エコな生活を通じ多くの人のとのコミュニティも楽しんでいます。「講座などに参加する人を増やしたい。今年度はハワイアンキルトを作ります」と抱負を語るドリカム岡田の皆さんは、これからも地域のひとと楽しくエコして、その輪を広げていきます。

エコ  
その1

## 古着・古布でエコな毎日 —ドリカム岡田—

お知らせ

### 松前町地域環境協議会委員の募集

町民・事業者・行政が、環境に優しい地域づくりを進めるために話し合う「地域環境協議会」の委員を募集します。

- テーマ 生ごみ減量・リサイクル
- 平成26年度の予定「生ごみ減量・リサイクルプランの具体的な取り組みについて」※会議は年6回程度、開催する予定です
- 任期 委嘱日から28年3月31日まで
- 応募資格 町内在住の20歳以上の人で、ごみの減量や地球温暖化防止に意欲や知識のある人
- 募集人数 1人 ●報酬 なし

- 応募方法 必要事項を記入した応募用紙と応募小論文用紙(ごみ減量や温暖化防止に対する自分の考えを800字程度にまとめたもの)を直接持参するか郵送またはメールしてください。
- \*応募用紙・小論文用紙は町民課窓口、ホームページから入手可。
- \*応募書類は返却しません。
- 締め切り 5月30日(金)当日消印有効
- 選考と結果 応募書類をもとに選考。結果は全員に通知します。
- 応募先 〒791-3192 松前町大字筒井631 松前町役場町民課ごみ対策係 ☎985-4117 Eメール 141gomi@town.masaki.ehime.jp